



よした ゆうみ
吉田 優美 さん(32歳)
愛宕商事株式会社
新潟市食育・花育センター勤務
【出身校】新潟市立石山中学校、新潟県立新潟商業高等学校会計科(現総合ビジネス科)【趣味】食へ歩き、旅行

COMPANY 愛宕商事株式会社
教育機関への備品販売に始まり、医療福祉や訪問介護、調剤薬局、保険や旅行の代理店事業のほか、施設の指定管理も請け負う。いくとぴあ食花や新潟市アグリパークの指定管理もその一環。

新潟の「食」の魅力を楽しく発信 食イベントの企画コーディネーター

FOODS
made in
NIIGATA

**うれしい顔が見たい。
それが仕事の原点**

おいしいものと花がいっぱいの新潟。それをもっと知ってもらえるようにと開設された食育・花育センターで、食にまつわるイベントを企画運営したり、館内の展示を考へたりしています。高校時代、アルバイトをしていたハンバーガーショップで、お子さん対象のイベントをした時、「おもしろい」って思ったんです。「人と関わって、喜ぶ顔が見たい」。あの気持ちがあるのが今の原点です。

**イベント成功の鍵は
すべて準備にある**

イベントは年に8回。たとえば秋の収穫祭なら、どんなことをするかをまず考えます。体験だったり、ゲームだったり。決まったら、細かいところまで詰めて、準備をして当日は現場対応。当日いらっしゃるお客様に喜んでいただくためには、当日までの準備が肝心。たくさんの方に楽しんでもらう仕掛けを考へたり、スムーズに事が運ぶようにあらゆることを想定したり。そんな時に欠

かせないのはチームワークです。イベント成功という共通の目標に向かって、一人一人が自分の仕事をやり切る。それも、仲間がいてこそ。中学時代、水泳部で、個人競技ではあるものの、友だちのおかげでがんばれた、あの経験が思い出されます。



新潟で収穫できる農産物の展示コーナーを整えるのも仕事のうち

**食の「わくわく」をもっと
提供していきたい**

この仕事をやっていて良かったと思うのは、特に子どものうれしい顔を見た時。待っている時の顔、真剣に作っている時の横顔、できあがったときの笑顔。そんな顔に出会える、わくわくする場をもっと作っていきなりたいと思います。自分たちが楽しみながらイベントをすることが大切。考へることも準備も楽しんで、多くの人にわくわくを通して、楽しく「食」に触れてもらいたい、それが今の目標です。

その楽しいですね!



イベントではどんなことをしたらいいか、みんなで意見を出し合うことから企画は始まる

「わくわく」する場を作ること



ヤリガイ